

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 S46年～			
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目	基本施策	02 起業と創造が支えるまちづくり
	小項目	施策	05 勤労者福祉
事務事業名		06 高齢者職業相談事業	問 担当課(室) 商工観光課 先 職・氏名 商工労政係長 中島和久 電 話 0869-64-1832

事業の実施	
対 象 (誰・何に対して)	市内の勤労意欲のある高齢者(概ね55歳～65歳まで)及び事業所
目 的 (何のために)	高齢者職業相談室を設置し、高齢者への職業相談、就業援助を行うことにより、高齢者の雇用促進を図る。
行 政 活 動 (どのような方法で)	庁舎内に高齢者職業相談室を設置し、公共職業安定所と連携を図りながら、職業相談や就業支援を行う。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	高齢者への職業相談、就業支援を行うことにより、高齢者の雇用促進を図る。

事業の実績					
活 動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	相談人数	人	2,100	1,999	2,101
	就職人数	人	127	144	146
実 績	直接事業費	千円	0	0	0
	必要人員	人	0.03人	0.01人	0.00人
	必要人員費	千円	310	93	0
	事業費	千円	310	93	0
	事業費計	千円	310	93	0
財 源	国 支 出 金	千円			
	県 支 出 金	千円			
	受 益 者 負 担 金	千円			
	繰 入 金	千円			
	市 債	千円			
その他()	千円				
一 般 財 源	千円	310	93	0	
受 益 者 負 担 比 率	%				

結果指標					
結果指標①	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	相談件数	件	2,100	1,999	2,101
	対前年対比	%	-	95.2%	105.1%
	活動コスト	円	310,000	93,000	0
	単位当たりコスト	円	148	47	0
結果指標②	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	就職件数	件	127	144	146
	対前年対比	%	-	113.4%	101.4%
	活動コスト	円	310,000	93,000	0
	単位当たりコスト	円	2,441	646	0

事業の成果					
就職人数	成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	目標値(A)		150	150	150
	実績値(B)		127	144	146
	達成率(B/A)		84.7%	96.0%	97.3%
成果指標設定の考え方・式や説明					
就職相談に訪れ、紹介を受け、最終的に就職した人数					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	高齢者への職業相談就業援助を行うことは、今後の高齢社会に対して妥当である。
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> C 判定理由・課題認識 公共職業安定所の協力を受けながら、効率よく相談、就業援助を行っている。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価<A~E> C 判定理由・課題認識 相談業務から、就職へと有効に機能している。
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	2,100件	結果指標量②	140件	成果指標量	150件
状況	拡充		現状継続	○	見直し	
	縮小				整理統合	
説明	休止		廃止・完了			
	予算措置はないが、前年度と同様に、相談・紹介業務を効率よく実施する。					

総合評価	
広報等により、高齢者職業相談所の存在を広く周知していく必要がある。高齢者の雇用促進を図るため、相談、紹介業務をさらに充実させていく。	評価区分 <A~E> C

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	今後も、相談・紹介業務を効率よく実施する。					
	改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果	
有効性		高齢者職業相談所の存在を広く周知		随時	相談件数、就職数の増加	